

海上技術安全研究所講演会

海事技術行政の戦略

2006年1月31日

国土交通省海事局企画課長 坂下 広朗

海事行政の目的と課題

海上交通の安全の確保

リスクベースに基づく合理的な安全基準体系の構築

海洋環境の保全

多様化する環境問題への的確な対応

海上交通の高度化

効率的で利便性に優れた海上輸送システムの実現

内航海運の活性化

海洋の開発利用の推進

海洋資源(鉱物資源、エネルギー、食糧、空間)の活用の促進

海事産業の持続的発展

社会の構造変化に対応した競争力の確保



我が国海事産業の課題

外航海運

我が国の経済社会を支える国際物流の担い手としての国際競争力確保
成長するアジア域内物流への対応

内航海運

国内輸送モード・外航海運に対して優位となる競争力の確保

造船業

需要の大部分を占める太宗船における国際競争力の確保

船用工業

製品・サービスの高付加価値化

少子高齢化社会における人材の確保

熟練技能者の不足への対応

我が国海事産業の特徴を活かした今後の方向性は？

我が国海事産業の特徴

- 国内産業物資(資源・製品)の輸送に軸足
- 生産における高い効率性が競争力の源泉
- 競争力のある荷主・物流業・造船業・船用工業が集積
- 目覚ましい発展を遂げるアジア経済のメンバー

機軸貨物の海上輸送サービスの価値を高めること

高い生産性・高質なサービスの優位性を堅持すること

国際市場を変革する価値の創造

安全・環境技術、情報技術

裾野の広い海事産業・行政・学術の連携